

負担軽減PTからの提案

提案4 好事例を参考に、業務改善に取り組もう

「業務改善が必要なことは理解しているが、学校の中でどのように進めたらよいか分からない。そもそも忙しくて取り組む時間がない。」といった意見を聞きます。そこで、実際に学校で取り組まれている業務改善の好事例を紹介します。ぜひ学校で実践してください。

別冊①の取組事例集も参考にして下さい。

学校現場の
負担軽減ハンドブック

～子どもと向き合う時間の確保に向けて～
県内取組事例集



行事等の見直し

○生徒の健康・安全面を考慮し、学校行事として毎年実施していた強歩大会を廃止。

- 学校行事全体の見直しを行う中で、強歩大会については、
- ・職員数が減ったため、全職員で対応しても、コース全体の監視が難しい。
 - ・近年の暖冬による影響で、練習期間も含めて気温が高い状況。

→ 年々、職員の負担感が増加

一方で、伝統行事として保護者や地域の方々も協力してくれている。廃止してよいのだろうか...

<対応>

- 「生徒の安全は十分に確保できているか」、「何の力をつけさせたいか」、「本当に必要な行事か(他の行事で同じような教育効果が得られているものはないか)」等の視点から、時間をかけて協議・検討 → 「今年度から実施を見合わせよう」

○OPTA総会や同窓会、学校のHP等で丁寧に説明・周知し、理解を得ることができた。

<結果>

- 生徒の健康・安全面の不安が解消され、職員の負担感が大幅に軽減されました。
○大会当日までの様々な準備もなくなり、授業準備に集中できる時間が増えました。

校務分掌

○分掌のスリム化（「総務」を廃止し、業務を他の分掌に振り分けることで、人員減に対応した。）

文書配付の工夫

○職員室に、職員別レターケースや仕切りファイルを設置し、事務室、各教科、各分掌からの配布文書を入れるようにした。

（各職員の机上に配付する時間を短縮するとともに、個人情報の漏洩防止を図る）

電話対応

○18:00～翌朝7:30までの間を自動音声案内とした事により、時間外の外部からの電話対応が解消された。

○職員室の電話機をワイヤレスに変更し、それぞれの持ち場で資料等を参照しながら対応できるようにした。

来客対応

○校内の案内板を作成し、行事等の際に分かりやすい所に設置することで、窓口対応の負担軽減を図った。